

保護者回収率・84%

評価について・A当てはまる Bやや当てはまる Cやや当てはまらない D当てはまらない

達成率=(A×4+B×3+C×2+D)/(A+B+C+D)/4×100 ★目標值:80%以上

項目 番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	R7第1回
1	教	保護者や地域と連携・協力して教育活動に取り組んでいる	3	7	0	0	0	83%	86%
	児	地域の方や家の人といっしょに学習している	50	22	5	4	0	86%	87%
	保	学校は、保護者や地域と連携・協力して教育活動に取り組んでいる	21	41	4	0	3	81%	83%
	分析改善	各学年で、保護者や地域と連携した教育活動に取り組んでいる。今後も、保護者や地域と連携した教育活動に努め、充実した教育活動にしていきたい。							
2	教	児童は、学校に行くのを楽しみにしている	4	6	0	0	0	85%	83%
	児	学校でみんなと学習したり、遊んだりするのが楽しい	64	14	1	1	0	94%	94%
	保	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている	25	37	7	0	0	82%	79%
	分析改善	保護者の達成率が3ポイント増加した。教職員が、授業の充実と休み時間の児童との関わりができていていると考える。保護者の中に「C」評価が7名いる。「A・B」評価になるよう、児童の学習や生活を充実させ、児童の様子をしっかりと情報発信していく。							
3	教	児童の学習意欲を高め、主体的に学習する態度の育成を図っている	1	9	0	0	0	78%	83%
	児	自分から進んで授業や家庭学習に取り組んでいる	48	25	6	1	0	88%	85%
	保	子どもは、自分から進んで学習に取り組んでいる	12	37	16	3	1	71%	71%
	分析改善	日々教材研究し、ペア学習やグループ学習等、発表の場の工夫とICT機器を効果的に活用し、どの児童にも分かる授業を心掛けた学習展開をしている。しかし、児童・保護者に「C・D」評価もあるため、児童が意欲的に学習し自信を持って発表できるよう、教職員一人一人が更なる自己研鑽に励む。							
4	教	家庭学習習慣の定着・向上に努めた	3	7	0	0	0	83%	81%
	児	決められた時間の家庭学習をしている（低30分、中45分、高60分）	53	21	4	2	0	89%	92%
	保	学校は、家庭学習習慣の定着・向上に努めている	21	39	5	0	4	81%	78%
	分析改善	教職員は、家庭学習習慣の定着や向上に努めており、教職員と保護者の連携が取れている。児童の達成率は下がったが高評価である。保護者の達成率は3ポイント増加し、家庭での学習習慣の定着・向上が見られる。今後も、家庭学習・生活調べの結果を活用し、家庭とより連携した取組を行う。							
5	教	読書意欲の向上に努めた	2	7	1	0	0	78%	72%
	児	目標とするページをめざして読書をしている	52	24	3	1	0	90%	85%
	保	子どもは、学校や家庭でよく読書に取り組んでいる	18	27	18	5	1	71%	68%
	分析改善	三者いずれも達成率が増加した。目標を達成するよう児童へ声を掛け、利用しやすい図書室の環境づくりを心掛けている。また、あけはま座による読み聞かせを通して本のよさも理解している。しかし、保護者評価は依然と低いため、今後も声掛けや時間確保を行ったり、家庭学習・生活調べの結果を通して、学校と家庭の連携を深めたりしていく。							
6	教	主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に努めた	2	8	0	0	0	80%	78%
	児	先生の授業はよくわかる	62	16	2	0	0	94%	94%
	保	先生は、一人一人によくわかる学習指導をしている	24	38	2	0	5	84%	78%
	分析改善	保護者達成率が6ポイント増加した。また、児童は高い達成率を維持している。先生方の「B」評価が多いのは、謙虚な評価をしたものと考え。今後も教材研究を重ね、児童一人一人に応じた指導に当たりたい。							
7	教	一人一人の児童に応じた指導・支援ができた	4	3	3	0	0	78%	83%
	児	先生は一人一人の話を聞いてくれる	49	30	1	0	0	90%	93%
	保	学校は、一人一人の話をよく聞いてくれている	17	45	2	0	5	81%	79%
	分析改善	教職員の達成率が5ポイント減少した。今後、研修を更に深め、自分や友達の考えを可視化したり、ペアやグループでの話し合いの機会を多く取り入れたらし、意見交流をする授業に学校全体で取り組んでいく。							
8	教	いじめの早期発見・早期対応、解消に努めた	3	7	0	0	0	83%	89%
	児	先生はいじめのない学校にしようとしていると感じる	65	13	1	1	0	94%	82%
	保	学校は、いじめ防止に取り組んでいる	15	41	5	0	8	79%	79%
	分析改善	児童における達成率が大幅に上昇した。児童との関わりや教育相談、スクールカウンセラーの利用、毎月の「なかよしアンケート」などを通して、いじめの早期発見・早期対応に努めている。引き続き、アンケートや日々の児童の様子を注意深く見守り、早期発見・早期対応に尽力する。また、全教職員で情報を共有し、家庭との連携を深める。							
9	教	お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	2	8	0	0	0	80%	83%
	児	思いやりの心を持ち、友達と仲良く生活している	62	15	3	0	0	93%	91%
	保	学校は、お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	18	46	2	0	3	81%	80%
	分析改善	児童は、概ね思いやりを持って仲良く生活できている。今後も全校遊びや異学年交流、教育活動全体を通して、更に児童、保護者の達成率が増加するよう努める。							
10	教	道徳科をはじめ道徳教育の充実に努めた	3	7	0	0	0	83%	81%
	児	道徳の時間に学習したことは役に立つと思う	55	23	1	1	0	91%	96%
	保	学校は、道徳教育の充実に努めている	16	46	0	0	7	81%	81%
	分析改善	児童における達成率が5ポイント減少したが、依然として高い水準を維持している。これは、教職員が日頃の教材研究や授業展開で児童同士での練習合いや認め合える学習に努め、道徳科を中心とした教育活動全体において指導が十分にできていると評価していただいた結果と捉える。今後、教育活動全体の活動や様子を保護者にも発信し、家庭と共有する。							

項目 項目 番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	R7第1回
11	教	児童や保護者が相談しやすい雰囲気づくりができています	4	6	0	0	0	85%	78%
	児	心配なことや悩みがあるとき、大人の人に相談できる	39	31	7	3	0	83%	81%
	保	学校は、児童や保護者が相談しやすい雰囲気づくりができています	19	38	6	0	6	80%	79%
	分析改善	教職員における達成率は、前回と比べ7ポイント上昇した。これは、全教職員が積極的に児童や保護者との関わりを持ち、相談しやすい雰囲気づくりに努めている成果と考える。しかし、児童・保護者に「C」「D」評価があり、相談しにくい児童や保護者がいるようだ。教職員だけでなく、家族に相談できる雰囲気づくりや周りの大人に相談するよう指導・助言する。							
12	教	挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んだ	1	9	0	0	0	78%	83%
	児	自分から進んで、大きな声であいさつをしている	48	26	3	3	0	87%	88%
	保	学校は、挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んでいる	31	36	1	0	1	86%	85%
	分析改善	教職員における達成率が5ポイント下がっている。全体的に、低学年は元気のよい声で挨拶ができていますが、高学年は元気がない児童も多く、指導する場面もあった。家庭や地域でも元気よく進んで挨拶ができるよう今後も指導していきたい。							
13	教	命を大切にし、安全に気を付ける指導ができた	6	4	0	0	0	90%	94%
	児	自分の命を大切にし、安全に気をつけて生活している	65	13	2	0	0	95%	96%
	保	学校は、命を大切にし、安全に気を付ける指導ができています	22	40	1	0	6	83%	82%
	分析改善	児童・教職員は、高い達成率となっている。教育活動全体を通して、告知なしの避難訓練や定期的な避難訓練、日常の安全点検などを積極的にしている。また、命の大切さについては、道徳科を中心として児童とともに考える時間を設け、実践へとつなげている。今後も計画的に訓練をし、自助共助の精神を育てていく。							
14	教	教育目標を念頭に教育活動に努力している	4	6	0	0	0	85%	81%
15	教	温かく支え合う居心地のよい職場づくりに努めた	4	6	0	0	0	85%	86%
16	教	超過勤務時間の削減に努め、心身の健康管理に努めた	0	6	4	0	0	65%	78%

自由記述(○良い取組 ●御意見・改善点→回答)

	○登校の際には、校長先生自ら付き添っていただき、ありがとうございます。お陰で、安心して登校することができています。また、前向きな言葉掛けをしていただき、ますますやる気になっていく模様です。○子どもとのことを考え、外部との連携や工夫をしていただいた御指導をいただき、ありがとうございます。また、日々の様子を分かりやすく計画帳に書いていただいたり、電話で御連絡をしていただいたりと、学校と家庭が連携して子どもを育てる体制ができていくと感じています。○家庭ではできない教育などしてらっしゃる方が多いです。○地域の方との交流授業とも良いと思います。○学年にあった体験学習や地域体験。○お誕生会での校長先生と教頭先生の歌などウケレ。ぜひ何かの機会に聴いてみたい。○先生方が子どもたちによく声を掛けてくださるころ。○あいさつ運動。海の風公園の清掃や花植え。○地域の行事を先生方まで大切にしてくださっていることがとても嬉しく思います。子どもたちが参加しているお祭りに見にくれたり、休演である駅伝の応援にきてくださった、り、お休みにも関わらずとてもありがたく、嬉しいです。ありがとうございます。○委員会活動では、丁寧に活動内容を御指導していただき、ありがとうございます。毎週の当番活動を楽しみにしており、家でもよく委員会の話をしてくれています。来年度も、同じ委員会が活動したいと熱望しております。先生の細やかな御指導や、やる気を引き出すような声掛けのお陰です。○学級担任以外でも、子どものことを気に掛けてくださるころ。○地域密着型で、子どもたちの個性が伸び伸びと育っていると感じます。 ●運動会のダンスをせめて低学年、高学年で分けてほしい。全校リレーが見たい。→運動会のダンスを低と高に分けることについては、今年度の対応は難しいです。運動会後の反省で、次年度の検討事項として対応していきます。全校リレーについては、走ることが苦手な児童が、チーム競技の中で大きな負担を感じたり、足が遅いところを大勢の人に見られることに抵抗を持ったりすることが予想されるので、実施は控えた方がいいと思います。 ●赤十字週間、ノーマディアの0か1かの回答が無駄。0にこだわると壁を付く生徒もいるのでは？テレビやスマホをどれだけ減らせたのかが重要じゃないでしょうか？その反動で他の週で何回も見るのにも困る。→ノーマディアの取組は、学習以外でスマホ、テレビ、ゲーム、タブレットなどを見る時間を一定期間断つことで、良いリズムの生活習慣を取り戻したり、読書やお手伝いの時間を増やしたりすることをねらって実施を行っています。御指摘のように、事実かどうか不明であることや他の週に反動がバズるといった課題があることも確かです。効果も子どもたちがメデイアと適切な向き合うことにつながるような項目とすることにより、校内で吟味していきます。 ●パソコンに教科書に図書の本、毎日のランドセルが重すぎてどうにかメデイアと適切に合うこと心配しています。→パソコンの持ち帰りにつきましても、成長期の児童にとってランドセルの重さは大きな負担です。必ずしも毎日持ち帰る必要がないよう、宿題の内容や連絡方法を調整いたします。また、教科書や副教材など、家庭学習で使用しないものは学校に置いて帰るよう、改めて児童に指導します。 ●バスの時刻表は紙で出してほしい。引き落としのお知らせも重要。スマホの画面を毎回チェックしたり、わざわざ自宅に印刷する必要があるがあたりて、面倒。バスの時刻表には、他の行事予定も書かれていて助かって。紙でもらえることと本当に助かる。一経緯として、以前、「重要文書については紙をなくしても困るので、すぐで送ってほしい」という希望があった、現在のやり方に至っています。それぞれのメリット・デメリットが考えられますので、2学期からは、紙・電子の両方で配布するようにしてみます。また、御意見がたっくたの幸いです。 ●参観日について、体育や音楽の授業も見てみたいのですが、難しいでしょうか？→年間4回の参観日のうち、人権参観日は主に道徳の授業、2月の参観日は各学級における成果発表（学活か総合）がメインとなっています。4月・6月は学組の裁量で授業を考へますので、要望があった旨伝えておきます。 ●夏休みの課題が多い。どちらかを選んでほしい。●夏休みの宿題をワーク系だけにしてほしい。（作文、自由研究、絵は選択制）→保護者の願いも鑑みて宿題を少なくしている学校もあるようです。しかし、本校としては、「学習習慣の定着」と「思考力・表現力の育成」という観点から、発達段階に応じた宿題を出すことは必要であると考へています。作文や自由研究などは、低学年のうちは親と一緒に取り組むことでお子様に引き出しができて、それを活用しながら高学年につなげていくことが、大きな「自立」「生きる力」となります。夏休みの時間があつたからと、そっくりと取り組んであげてほしい宿題もあると出さていただいています。宿題が、保護者の教育方針に合わない場合や、お子様が宿題をする様子を見て、負担過多であると感じた場合は、学級担任に相談の上、保護者の判断で適量に調整していただければ構いません。 ●プールの給は、疲れた体に嬉しい糖分などの毎回あげてほしい（私も子どもも）→夏の暑い時期にプールを実施しますが、プールは、転倒・溺死等事故も発生していることから、プールに入る前に先生方から指導の先生の御厚意によって子どもたちに配られています。よって、毎回は配布できない場合もあることをあらかじめ御了承ください。P.T.A.会費で買うことも考えられますが、児童全員に還元されないのでは適正な使い方はないようには思います。 ●海岸掃除は大切だが、7月1日は危険。御指摘をいただき、ありがとうございます。暑い中の実施となり、大変御心配をお掛けいたしました。活動内容や実施時期に配慮しながら、外での活動を計画していきます。 ●マスクの着用は個人に任せてもえらうとありがたいです。マスク着用の呼び掛けがあると、苦しくて我慢してつづたり、つづてない時に他の児童から指摘をされることもあるそうです。授業中ずっとつけていて頭がぼーっとすることもあると聞いたことがあります。マスク着用を一律に求めるのではなく、お互いの選択を尊重できる環境づくりを希望します。→感染症が広がる可能性のある時に感染拡大防止の現実的な手段として換気や手洗いとともにマスクの着用を呼び掛けていました。御指導・御助言をいただきましたように、マスクの着用の一律の呼び掛けは、感染拡大を防ぐために即応はできますが、マスクの有無で子どもたちを心配する側面も強かったものであったと反省しております。換気や手洗いといった基本的な対策については呼び掛け、マスク着用については、「感染症が流行しているから、心配な人や予防したい人はマスクをつけましょう。」と勧める形をとります。子どもや保護者の意思に委ねる形にしていきます。ただ、バスの中は密室で感染のリスクが高いため、流行期におけるマスク着用は呼び掛けること、あらかじめ御了承ください。 ●子どもがとても疲れている。習い事をさせたいけど、こんなに疲れていては習い事はできなそうです。→学校としては、発達段階に応じた適正な教育活動をしているつもりです。具体的にどのような活動が負担なのか、要望を学級担任までお知らせください。保護者の多くの御意見をいただいた活動につきましては、検討させていただきます。 ●アルミ缶回収や募金などの取組をもっと保護者に伝えてほしい。以前はP.T.A.総会で学校側が説明していたが、低学年の保護者は知らないことが多々あります。→貴重な御意見ありがとうございます。来年度はP.T.A.総会かP.T.A.懇談会で周知するようにはいたします。 ●学校のプールのトイレを全部洋式にしてほしいと子どもが話していました。→学校のプールは中学校の管轄になるので、御意見があったことを伝えておきます。ただし、洋式トイレにするには、莫大な費用が掛かり、早急には難しいのではないかと思います。 ●クラブ活動でアクティブとホームメイドがあります。音楽系とかはできないでしょうか？吹奏楽？鼓笛隊？合唱部？みたいなのがあれば体育祭とかでも発表できそうですし、中学も音楽系のクラブはなさそうなのでどうでしょう？→スポーツ系と文化系のクラブを実施していますが、文科系は先生方で担当し得るものとして「ホームメイド」を採用しています。先生方の意向を組むことを優先させていただきます。なお、鼓笛隊などで運動会で発表するという案は、大変よいアイデアだと思いますが、あいに本校には吹奏楽や鼓笛隊を完成させるような楽器がそろっていません。申し訳ありません。
教師	○職員室の雰囲気を通しやすい感じで、安心して職員室で仕事をすることができた。 ○あゆみが1・2学期に「所見なし」になり、ありがたい。 ○何かがあった時、校長先生や教頭先生がすぐに対応していただけるのは心強い。 ○地区別懇談会など、夜の会がないのはありがたい。○チームワークの良さがある。 ○個別の児童の課題や困り感に寄り添い、改善に努める風土が高められているように感じる。 ○道徳科の研究授業の向上により、授業の充実が図られている。今後、目に見える形で学校全体の取組につなげていくことが大切である。そうすることで、いじめ・思いやりの項目の更なる向上が期待できる。 ●放課後特別練習は、練習コースを少なくして、職員が交代で出ることではないのかとも思う。練習に参加しない子が特活室にいるので、そこを見る人も配置する。→一週連発までは、できるだけ児童に少く機会を与えたいという体育主任・学校長の方針もあり、練習は7コースと小グループで実施します。特活室担当の先生とお話すること、来年度の課題として引継ぎます。一次選考後は、現行の通り、交代制で運営します。 ●販売し、子どもが直接職員室に買いたい来るようにしてほしい。朝は学組も教室でやることが多いので、職員室まで降りることがすぐには難しい。→大塚校務員の朝の動きの関係で、7:45～8:00の限定された時間であれば可能だそうです。その時間以外は今まで同様、学組が窓口でお願いします。 ●学級への伝達や、やらせるべきことについて失念しないように、また、提出物の期限を守れるようにメモ等の管理をする「タスクマネジメント」を意識してほしい。→伝達事項は必ずメモをする。提出物のメ切りは自身のカレンダーに書くなど、当たり前のことを当たり前に遂行したい。